

校内研修計画

甲州市立大和中学校

1 学校課題

本校は全校生徒22名の小規模校である。そのため、「一人ひとりに目が行き届き、細やかな指導ができる」ことや「互いによく知っており、学年・性別関係なく仲が良い」こと、「全員が何らかの役割を担うことで活躍の場が与えられる」などの利点があるといえる。しかし、少人数であるがゆえに「人間関係の固定化」や「言わずとも伝わるためのコミュニケーション能力の低さ」など克服すべき点もみられる。コミュニケーション能力は、さまざまな場面や人に対応する力が必要となるが、限られた人間関係の中だけでは育成しにくい。

そのため、本校では数年前より市内勝沼中学校との交流や東山陸上大会や音楽発表会への全校参加など、他校との交流の場を設けてきた。しかし、各クラス10人以下のため、毎日の授業の中でも多種多様な意見に触れる機会が少なく、視野が広がりにくい。また、経験の少なさから状況に応じて求められる態度の違いがわからないことなどまだまだ課題が多い。

2 研究主題

主体的に学ぶ生徒の育成

副題～ 地域や学校の特色を活かした効果的な学び ～

3 主題設定の理由

本校では、今年度から「少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業」と「コミュニティ・スクール導入等促進事業」の研究指定を受けている。小規模校だからこそその特色や環境を活かした教育を行うため、先進的ICT環境を整えることにより、地域活性化の取組、学校連携ネットワークの構築及び交流、同期型CSCL授業の開発などの研究を進めていくものである。またコミュニティ・スクールは、地域の人的・物的資源を活用し社会と目標を共有・連携しながら、共同して生徒たちの育成を目指すものである。

本校のある大和地域は、以前より学校と地域のつながりが密である。例えば、地域の伝承芸能である「巫女の舞」は本校女子生徒が伝承の会の方々のご指導のもと受け継いでいる。毎年、信玄公祭り、勝頼公祭りなどの地域行事の中で発表する機会を与えられている。また、大和地域は豊かな自然に囲まれていることや、景德院や栖雲寺など歴史的・文化的にも魅力ある地域で観光資源も豊富である地域といえる。そんな自分たちのふるさとの素晴らしさについて学び、誇りに思うことで、この先どこへいっても自信を持って力強く生きていける人となってほしいと願い、地域についての学習を取り入れてきた。今回の指定をきっかけとして、この地域学習をより一層深めていきたいと考える。

以上のことから、今年度は少人数ならではの授業の工夫による学力の向上と、地域と連携することで地域学習をより深めるための研究を進めていきたい。

4 具体的な内容と方法

1 地域資源を活用した授業づくり

- ・地域と結びつく（組織作り）
- ・地域の力を活用する（人材活用）
- ・地域から学び、地域人としての誇りを持つ
（総合の時間を使った地域学習、カリキュラムづくり）

2 少人数であることを活かした学習活動の工夫

- ・ICT機器の使い方を学び、授業で使う
- ・ICT機器の有効な活用方法や指導法の研究・検証
- ・大和プロジェクトの継続研究
- ・一人一実践

3 甲州市「確かな学力」育成プロジェクトと連携した学力の向上

- ・甲州市「ティーチャーズ・ノート」を基盤とした授業づくり
- ・Q-Uの分析をもとにした学級づくり
- ・地域・保護者との連携

年間校内研究計画

研究主任 前島 香織

回	研究内容	実施予定日	TC
1	昨年度までの校内研究について	4月 4日	
2	今年度の研究について (主題・内容・計画等)	4月11日	
3	研究内容・計画の確定 大和プロジェクトについて (学習規律・振り返りノートなど)	4月18日	
4	部会研究1	5月16日	
5	NRT・Q-Uの分析と今後の取り組み	5月30日	
	甲州市「確かな学力」育成プロジェクト講演会①	6月15日	
6	部会研究2、県学力把握調査結果の分析	6月20日	
	甲州市「確かな学力」育成プロジェクト講演会②	7月 4日	
7	コミュニティースクールに関する学習会	7月11日	
8	ブロック交流研①	8月 8日	
9	ICTに関する学習会	8月17日	
10	部会研究3	9月12日	
11	部会研究4、一人一実践について	9月26日	
12	一人一実践	10月10日	
	市プロジェクト授業研究・学習会	10月17日	
13	一人一実践	10月24日	
14	指導主事を招いての研究授業と研究会	11月 7日	○
15	一人一実践		
16	ブロック交流研究②	11月21日	
17	一人一実践		
	市プロジェクト講演会③	12月 7日	
18	一人一実践	12月12日	
19	ブロック交流研究③	1月16日	
	市プロジェクト講演会④	1月23日	
20	校内研のまとめと紀要原稿依頼	1月30日	
21	紀要原稿提出と作成	2月20日	
22	研究のまとめ	3月 6日	

*10月11月12月の間に各教科にて一人一実践を行う。
日時は変更となることもある。